MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

ミステリ読書案内

２０２２．７．２５　発行元
第 379 号　伊藤　剛
https://mystery-dokuan.com

MYSTERYDOKUSHOANNAIMYSTERYDOKUSHOANNAIMYS

辻真先「馬鹿みたいな話！」

辻真先の『昭和ミステリ』シリーズ第三弾『馬鹿みたいな話！』が５月に東京創元社から出た。『このミステリーがすごい！』の年間ランキング一位になった『たかが殺人じゃないか』の続編に当たる作品。

『昭和ミステリ』シリーズ

帯を見ると『仮題・中学殺人事件』から５０周年＆卒寿記念出版と書いてある。辻真先の長い歴史を到達点ということでもあろう。

『昭和ミステリ』シリーズというのは那珂一兵が登場する『深夜の博覧会』(昭和１２年の探偵小説)、『たかが殺人じゃないか』（昭和２４年の推理小説）のことで、本書で三部作は完結する。激動の昭和を１２年ごとの作品にまとめて形にしたものである。本書には『昭和３６年のミステリ』の副題がついている。

『たかが殺人じゃないか』は一昨年の年間ランキングで一位に入ったとおりで、「本格謎解きミステリ」としての内容の伴った名作。

今度の「馬鹿みたいな話！」は

辻真先の最も得意とする初期のテレビ放送をテーマにした作品。実際の仕事に携わっていた人ならではの詳しさである。「当時はこうだったんだなぁ」と思わせる場面の連続。登場してくる例の半分以上は実在の人物と出来事と言ってよい。私などの高齢者にとっては馴染みの俳優等がどんどん登場してくる。

殺人の場面に至るまでがやや長く、若い人には我慢が必要かもしれない。各所に伏線が配置されているのだが、人物間の言葉でのやりとりが中心なので読むための集中力を維持する必要がある。

スタジオの中の密室

基本的には生放送でのドラマ撮影であり、失敗は許されない緊迫感があり、役者も裏方もぎりぎりのところで動いている。主演の女優の中里みはるが場面転換で背景の捨て部屋に入ったところで刺殺されていたのだ。物語の視点は３０分のミステリドラマの作者である風早勝利。密閉されたスタジオの中で、誰が犯人なのか。

秒きざみの進行の中での各自の居場所が確認されていく。一見、誰にも犯行は不可能のように見える。警察が到着し捜査が始まる。この辺の流れは前作『たかが殺人じゃないか』と繋がった形になっている。

「テレビ時代」の幕開け

本の中での名前はＣＨＫになっているが、ちょうど時代はラジオからテレビに移り変わる転換期。常に新しいものを作り出していかなければならなかった関係者の思いが伝わる物語。事件の結末は結末として、作者の書きたかったことは「昭和」を生きてきた人達の実像。人生を振り返る一冊と言ってよい。

昭和３６年の頃

昭和３６年の頃…。私の記憶は明確ではない。野山を駆け回り、田んぼで遊んでいたと思う。近くを走っていた県道（今は国道）は未舗装の砂利道。凸凹で雨が降ると水がたまりやすかった。当時はどの家にもテレビはなかった。（私が住んでいた地区で最初のテレビが入ったのが昭和３９年で東京オリンピックの年だった）　ラジオは毎日聞いていたように思う。蓄音機でＳＰレコードを聞いていた時代だった。本書の帯に「昭和 36 年の主な出来事」が書かれているが、東北の山の中で育った私には、遠くの出来事にしか思えないものばかりだ。

今野敏　『任侠楽団』

６月に中央公論新社から出た本。『任侠シリーズ』の第六作に当たる。第一作を私が読んだ時は『とせい』という題名だったが今は『任侠書房』に改題された。その後『任侠学園』『任侠病院』『任侠浴場』『任侠シネマ』と続いてきた。義理人情に厚い、昔気質のヤクザ・阿岐本組が取り組む「世直しストーリー」。今野敏作品の中でも最もユーモアに溢れた、それでいて「そうだよなぁ」と思わせる内容を含んだシリーズ。世の中の評判もなかなか好調のように見受けられる。

今回は地元のオーケストラ内部での対立を解決する話。常任指揮者が替わり、実力主義の面が強くなり、古参の演奏者に若手が厳しく意見を言う場面が増えたという。年末の演奏会を直前に控えて、団が分裂するのではないかと危ぶまれた。阿岐本組の代替・日村はオヤジの阿岐本に引っ張られてコンサルティング会社社員として楽団事務所を訪れる。慣れないネクタイを締めて、知らない分野の関係者から話を聞き始め、不器用な対応しかできずに四苦八苦する。リハーサル直前に指揮者のハーンが後頭部を叩かれて昏倒。大事にはならずに済んだが、警察が乗り出してくることに。登場したのはなんと警視庁捜査一課の碓氷弘一刑事。日村は、阿岐本の表情を勘案しつつ、碓氷ののらりくらりに振り回され、心配事は増えるばかり。団内の対立が激化するかにみえたが、あるベテラン団員の動きが打開の道筋を作り出してくれた。根本にあった原因とは……。